

jlreq-deluxe パッケージ

h20y6m

2020/04/14

1 概要

p_{La}T_EX 及び up_{La}T_EX で jlreq クラス¹⁾を使用する場合に和文を多書体（多ウェイト）にする機能を提供する。

jlreq クラスでは JLReq²⁾に従った組版を実現するために独自の和文 VF を用いている。このため、多書体（多ウェイト）にしようと japanese-otf パッケージ³⁾を利用すると和文 VF が置き換わってしまい、jlreq クラスの意図する組版が得られなくなってしまう。

このパッケージでは jlreq クラスの提供する和文 VF を元に japanese-otf に合わせた和文 VF を提供し、さらに、pxjodel パッケージ⁴⁾を利用した和文 VF 置き換え機能を提供する。

2 前提条件

- T_EX フォーマット：L_AT_EX。
- T_EX エンジン：pT_EX、upT_EX。
- DVI ウェア：和文 TFM と VF をサポートするもの。
- 前提パッケージ：
 - pxjodel パッケージ

3 使用方法

通常のパッケージと同様に `\usepackage` で読み込む。

```
\usepackage[オプション]{jlreq-deluxe}
```

基本的に jlreq クラスとともに使用することを想定しているが、他のクラスでも使用することは

1) <https://www.ctan.org/pkg/jlreq>

2) W3C「日本語組版処理の要件」(<https://www.w3.org/TR/jlreq/ja/>)

3) <https://www.ctan.org/pkg/japanese-otf>

4) <https://www.ctan.org/pkg/pxjodel>

出来る。

4 オプション

基本的に otf パッケージのと同じオプションが使用できるが、以下のオプションは動作が異なる。

- `deluxe`
既定で有効になる。無効にしたい場合は `deluxe=false` を指定する。
- `burasage`
使用できない。ぶら下げ組みを行いたい場合は `hanging_punctuation` オプションを使用する。
- `jis2004`
既定で有効になる。無効にしたい場合は `jis2004=false` を指定する。
- `uplatex`
`jlreq` クラスを使用している場合は自動的に設定される。
- `scale`
`jlreq` クラスを使用している場合は自動的に設定され指定は無視される。

また以下のオプションが使用できる。

- `hanging_punctuation`
`jlreq` クラスの `hanging_punctuation` オプションに対応する VF を使用する。`jlreq` クラスを使用している場合は自動的に設定され指定は無視される。
- `zenkakunibu_nibu`
`jlreq` クラスの `open_bracket_pos=zenkakunibu_nibu` オプションに対応する VF を使用する。`jlreq` クラスを使用している場合は自動的に設定され指定は無視される。